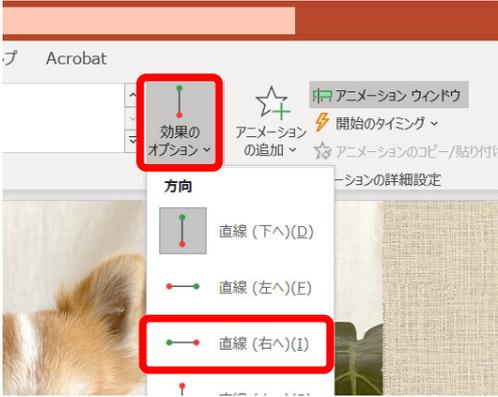
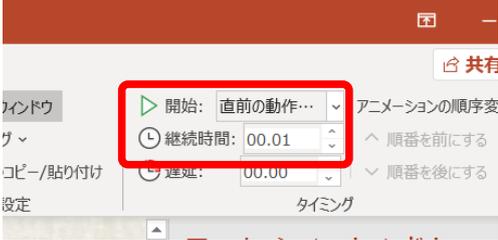
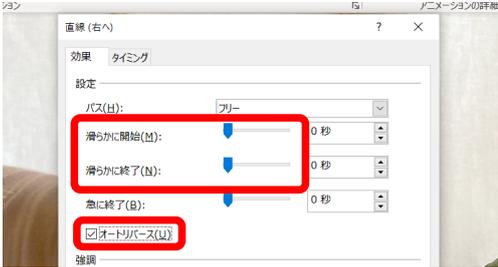


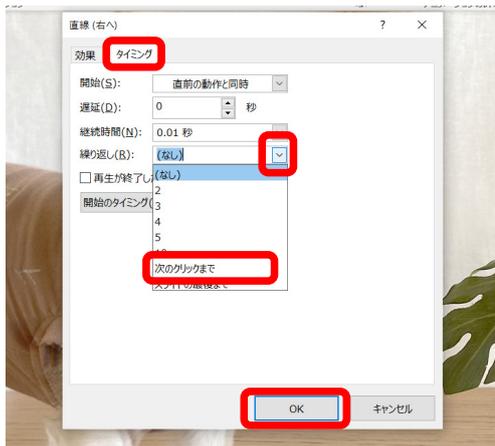
# ぶるぶるチワワ

このマニュアルは PowerPoint Microsoft 365 バージョン 2004 で書かれています

<p>1</p>		<p>チワワの写真を用意して、挿入または貼り付け。</p>
<p>2</p>		<p>「Ctrl」 + 「D」 キーで、複製。</p>
<p>3</p>		<p>「背景の削除」で背景透過にします。 わからない方は、 <a href="#">「Tips 背景透過」</a> の3ページからを参考にしてください。</p>
<p>4</p>		<p>元の画像にぴったり重ねます。</p>
<p>5</p>		<p>「アニメーション」→「アニメーション ウィンドウ」 で、アニメーション ウィンドウを開きます。</p> <p>「アニメーションの追加」 → アニメーションの軌跡「直線」。</p>

<p>6</p>		<p>「効果のオプション」→「直線 (右へ)」。</p>
<p>7</p>		<p>アニメーションの軌跡の終点  をクリックし、   を移動させて、アニメーションの移動の幅を狭くします。  このとき、「Ctrl」を押しながら、マウスのホイールを回転させ、画面を拡大すると作業が行いやすいです。  終点が始点にくっついてしまうことがありますが、何度かやってみてください。</p>
<p>8</p>		<p>「開始」→「直前の動作と同時」。  「継続時間」→「0」を入力。  0を入力すると、00.01 になります。</p>
<p>9</p>		<p>画面右の「アニメーション ウィンドウ」のアニメーションの項目をダブルクリック。</p>
<p>10</p>		<p>「滑らかに開始」「滑らかに終了」のスライダーを左端に移動。  「オートルリバース」にチェック。</p>

11



「タイミング」タブをクリックし、「繰り返し」→「次のクリックまで」。「OK」。

12



「F5」キーで、スライドショーを観てみましょう。

ここからスライドショーで確認しながら、微調整していきます。

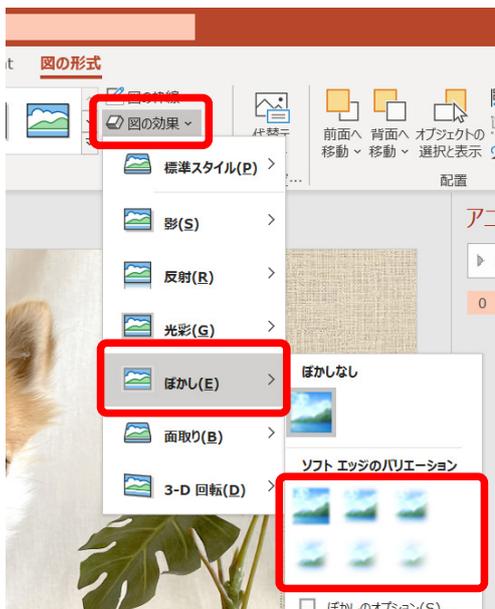
13



震え具合を見て、アニメーションの軌跡の幅を調整。

右だけに移動してるので、画像を選択し、「←」キーを2、3回押して、少し左に寄せると自然なぶるぶるになります。

14



画像をダブルクリックし、「図の効果」→「ぼかし」で、画像のふちを少しぼかして、なじませます。これも、スライドショーを観ながら、適度なぼかしに調整してください。